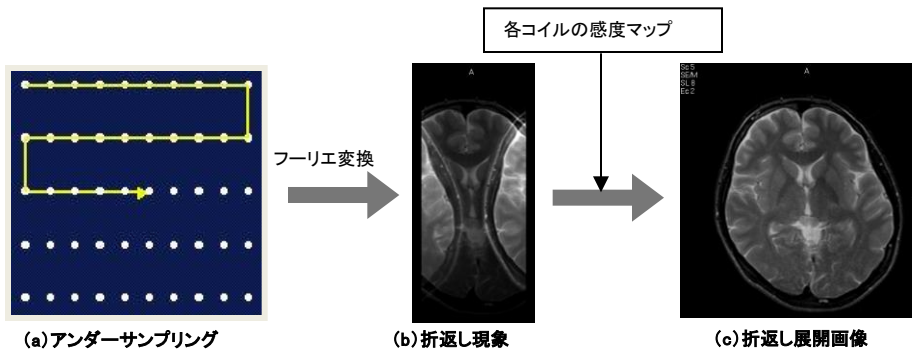


2000:フィリップス:SENSE

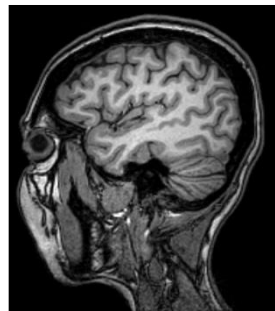
Parallel Imaging の一種で、Synergy Coilの各チャンネルの感度分布の差を利用した高速撮像技術。

SENSEは、アンダーサンプリング(位相エンコードステップを間引いて充填すること)によって撮像時間を短縮する。

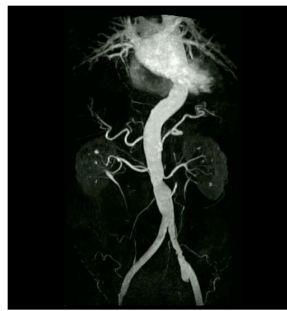
これを通常のフーリエ変換すると、画像には折り返しが生じるが、ここで各コイルの感度マップを用いた画像再構成を行うことによって、折り返しを展開する。



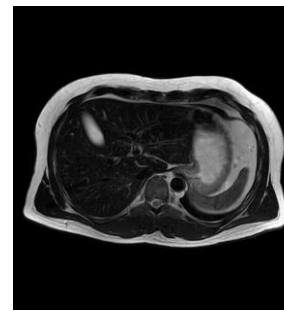
SENSEは、Synergy Coilさえ用いれば、撮像部位、撮像シーケンスの制限なく利用することができる。長い撮像時間を要するボリュームスキャンへの応用、息止めが必要な腹部検査への応用、あるいはSARが問題となる3.0Tへの応用(図2c)など、その用途と利用価値は多岐にわたっている



(a) 頭部全脳3D画像



(b) 腹部造影MRA画像



(c) 腹部3.0Tesla画像